

アジア政経学会 2007年度第1回理事会 議事録

1. 日時 2007年4月7日（土）15：00～17：00
2. 会場 霞山会館 9階 さつきの間（千代田区霞ヶ関3-2-4）
3. 理事総数 24名
4. 出席者 11名（国分・加藤・佐藤・澤田・末廣・高橋・高原・武田
トラン・山本・田中）
(+監事：石井) (+特任理事：竹中・丸川)
5. 委任状提出者 4名
6. 出席者合計 18名
7. 議長 国分理事長
8. 議事
 - (ア) 定刻に、国分理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・高橋理事より本日の出席者は18名（委任状による表決者を含む）にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。
 - (イ) 前回（2006年12月2日）理事会議事録の確認を行った。

議案1 2007年度活動計画案について

国分理事長より、2007年度の活動計画案をもとに報告が行われ、理事・監事共にこれを承認した。

議案2 2006年度決算報告について

丸川特任理事（財務担当）より報告が行われ、理事・監事共にこれを承認した。

議案3 2007年度予算計画について

丸川特任理事より報告が行われ、理事・監事共にこれを承認した。

議案4 東日本大会（5月26日、於：学習院大学）の準備状況について

高原理事（東日本研究担当）より、東日本大会の詳細についての報告が行われた。
また、当理事より、非会員発表者に対する交通費について、旅費相当分を謝金として支給することが提案され、承認された。

議案5 西日本大会（6月2・3日、於：福岡大学）

加藤理事（西日本研究担当）より、西日本大会の詳細についての報告が行われた。

議案 6 本年度全国大会について

国分理事長より、本年度の全国大会は 10 月 13・14 日に東京女子大学にて開催されることおよび、主催校実行委員会から補助増額依頼があるとの報告が行われた。補助増額を認めるかどうかについて審議が行われ、その結果、開催費を 10 万円増額し、60 万円とすることが決定された。

議案 7 役員改選日程について

高橋理事（総務担当）より、本年度の役員改選日程についての報告が行われ、承認された。

議案 8 『アジア研究』の編集状況について

武田理事（編集担当）より、『アジア研究』第 53 卷第 2 号について、2007 年 4 月に発行予定であることと、掲載内容詳細についての報告が行われた。

議案 9 ニューズレター・ホームページの改定について

山本理事（広報担当）より、ホームページ管理委託先を紀伊国屋書店から中西印刷へ移転することについて、紀伊国屋書店との交渉が進展せず、移転は実現していないとの報告が行われた。

議案 10 本年度優秀論文賞について

「アジア政経学会優秀論文賞」選考委員長の石井監事より、当学会優秀論文賞選考規定について、改訂案の説明が行われ、検討の結果、承認された。

議案 11 大会開催時の託児サービス提供について

高橋理事（総務担当）より、大会開催時の託児サービス提供について、報告と説明があり、それをもとに討議が行われ、次回東日本大会より実際に提供を開始するとの方針を確認した。

議案 12 名簿作成について

高橋理事（総務担当）より、本年度の名簿作成についての報告と説明が行われ、10 月刊行予定の『アジア研究』に時期を合わせて完成させるとの方針を確認した。

議案 13 入・退会者について

新入会希望者 16 名、退会希望者 25 名、休会希望者 1 名、会員規則 7 条に基づく退会者 96 名についての承認が行われた。なお、会員規則 7 条に基づく退会者 96 名の退会処理に関しては今月末まで保留することとした。

その他

- ① 高橋理事より、科学技術振興機構（ＪＳＴ）による『アジア研究』の電子アーカイブ化についての報告・説明が行われた。

以 上

国分議長が午後 17 時 00 分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成 19 年 4 月 7 日
財団法人アジア政経学会

議長

(五) 今 広 夫



議事録署名人

高 橋 伸 夫



議事録署名人

山 本 信 人

